



保育所等訪問支援 りんごの花

保育所等訪問支援では、療育について専門性が高い保育士等が保育園や幼稚園、小学校に行き、直接支援を行います。担任の先生の相談に乗ったり、どうすればお子さまが集団での活動に参加できるかなどについてお話しします。

対象 保育所、幼稚園、小学校等の当該施設を訪問しての専門的な支援が必要と認められ、受給者証を交付されているお子さま

利用にあたっては、訪問先の同意が必要です

営業日 月曜日～金曜日
(祝日・お盆・年末年始はお休み)

営業時間 8:30～17:00

利用回数 月に2回の訪問を目安とし、お子さまの状況や時期によって頻度を調整します

利用料 1回あたり 2,000円
就学前3年間は無料

<利用開始までの流れ>
お住いの療育センター（未就学児）またはお住いの保健福祉センター（就学児）にお問い合わせください。

※総合的なお問い合わせは
福岡市子ども未来局 こども発達支援課
TEL 092 - 711 - 4178

児童発達支援事業所りんごの花は
2024年10月、姪浜駅北口前に開所しました。
利便性が良い場所なので、少し離れたところからのご利用も可能かと思えます。
保育園や幼稚園のような大きな場所が苦手なお子さまのホッとできる場所にもなりたいと思っています。
ご家族の方のご相談にしっかり耳を傾け、一緒にお子さまを支援していきます。



お気軽にご連絡ください

 **092-891-6681**

アクセス



地下鉄姪浜駅より
徒歩1分

〒819-0002
福岡市西区姪の浜4-22-18
ステイツ姪浜駅前2階C号

<https://www.jihatsu-ringonohana.jp>

ホームページ



Instagram



児童発達支援事業所
りんごの花
社会福祉法人 太陽のちから



児童発達支援事業所
りんごの花
社会福祉法人 太陽のちから

一人ひとり違っていい
一人ひとりの違いを大切に
一人ひとりの違いを活かせるように
子ども達の一番の味方になります





児童発達支援事業所りんごの花

小集団の活動を通して、集団への適応力を高めます。
 「できそう」「やってみよう」と心が動き、主体的に参加し、「できた」「楽しかった」「がんばった」という経験が積み重なるよう支援します。
 自由時間や個別の時間を通して、個々の力を伸ばします。
 好きなことや得意なことに取り組む、苦手なことにチャレンジするなど、課題に合わせた支援を行います。

対象 市町村から療育施設への通所が必要と認められ
 受給者証を交付されている1歳～6歳（小学校入学まで）のお子さま

利用回数 月10回（1歳児は月5回）

利用料 福岡市在住の方は自己負担なし
 給食 300円/1回（水・木曜の利用時）
 おやつ 100円/1回（水・木の延長利用時）

営業日 月曜日～金曜日
 （祝日・お盆・年末年始はお休み）

営業時間 8:30～17:00

<利用開始までの流れ>

1. 事業所に問い合わせ後、事業所の様子を見学
2. お住いの療育センターで受給者証を発行
 ※早良区・西区にお住まいの方は
 西部療育センター 電話番号：092-883-7161
3. 事業所と利用契約
 アセスメント（初回の面談）の実施後、個別支援計画の内容にご承諾をいただき、利用開始となります。



療育スケジュール



月・火曜日<午前>
単独通園（2・3歳児）／定員5名

9:00 - 9:30	登園・はじまりの会
9:30 - 11:00	主活動・自由遊び
11:00 - 11:30	おわりの会・降園

金曜日<午前>
親子通園（1・2歳児）／定員5名

9:00 - 9:30	登園・はじまりの会
9:30 - 11:00	主活動・自由遊び
11:00 - 11:30	おわりの会・降園

月・火・金曜日<午後>
単独通園（3・4・5歳児）／定員5名

13:00 - 13:30	登園・はじまりの会
13:30 - 15:00	主活動・自由遊び
15:00 - 15:30	おわりの会・降園

水・木曜日<一日>
単独通園（3・4・5歳児）／定員10名

9:00 - 9:30	登園・はじまりの会
9:30 - 11:30	主活動・自由遊び
11:30 - 12:30	昼食
12:30 - 14:00	主活動・自由遊び
14:00 - 14:30	おわりの会・降園
14:30 - 16:00	延長利用（利用条件あり）

●曜日ごとの利用年齢は目安です。ご相談ください。
 （年度ごとに変更する場合があります）

●近隣（車で10分程度）の保育園、幼稚園への送迎は可能です。ご相談ください。



療育内容（5領域）

生活や遊びを通して、5領域に沿った支援を行い、家庭での生活や園での集団生活によりスムーズに適応できるように支援します。
 ※一つの活動には複数の領域が含まれていますが、一例として一つの領域で記載しています。

健康
・
生活

着脱、排泄、食事、手洗い、片付け
 スケジュールの見通し等

運動
・
感覚

運動遊び（平均台・マット・トランポリン・ボール・体操など）
 指先遊び（製作・感触遊び等）

認知
・
行動

リズム遊び、数字遊び、ルールのある遊び
 （トランプ・じゃんけん・ジェスチャーゲーム等）

言語
・
コミュニケーション

パネルシアター、ペープサート、
 絵本、ことば遊び、インタビュー等

人間関係
・
社会性

集団遊び（ままごと・電車ごっこ・手つなぎ遊び・フルーツバスケットなど）
 作品発表、意見交換など

1対1、または少人数のグループで、それぞれのお子さまに合わせて計画を立て、支援を行います

<個別プログラム（一例）>

- ・ことば（文字遊び・絵、カード遊び等）
- ・運動（はさみ・紐通し・バランス遊び等）
- ・認知（数遊び・マッチング遊び等）
- ・SST（気持ちの表現・ルール、マナー等）